




代表質問通告書一覧 (3月1日)

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(34番) 米田 忠則 (自由民主党) 【一括質問】</p>	<p><b>1 新年度予算について</b></p> <p>荒井知事には、奈良にしかできない、そして、奈良だからこそできる新しい取組に怯むことなくチャレンジしていただきたいと考える。今回提案されている新年度の予算に込められた知事の思いを改めて伺いたい。</p> <p><b>2 インバウンド観光の推進について</b></p> <p>外国人観光客の多様なニーズに対応しつつ、総合的なインバウンド施策を一層推進することにより「観光先進県・奈良」を実現することが必要と考える。インバウンド観光の推進について、今後、どのように取り組んでいくのか。</p> <p><b>3 「ジャポニスム2018」における奈良県の取組について</b></p> <p>今年、政府の主導により「ジャポニスム2018」がフランスで開催されるこの機会に、他に比類なき歴史文化資源を有する奈良のブランドを積極的に発信することが大切であると考えているが、「奈良の仏像海外展示」をはじめとして、どのように取り組むのか、知事の考えを伺いたい。</p> <p><b>4 奈良公園の整備について</b></p> <p>吉城園周辺地区及び高畑町裁判所跡地、旧奈良監獄については、奈良公園の魅力向上に大きく寄与するだけではなく、これからの奈良のインバウンド観光を牽引する主要なプロジェクトになると考えるが、県として、これらのプロジェクトについて、今後どのように取り組んでいくのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(34番) 米田 忠則 (自由民主党)</p>	<p><b>5 本県の活性化に資する道路ネットワークの推進について</b></p> <p>県内での企業立地や雇用創出、インバウンドへの対応などを戦略的に進めるとともに、経済の活性化を図るために必要な道路ネットワークについて、どのような将来像を思い描いているのか。また、その将来像に向けてどのように進めようとしているのか、知事の所見を伺いたい。</p>	知 事
	<p><b>6 医療・介護政策について</b></p> <p>知事は、平成29年度に、「第7次奈良県保健医療計画」、「高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業支援計画」、「第3期医療費適正化計画」などの策定、また、来年度からスタートする国民健康保険の県単位化の準備を進めてきたが、これらの計画や取組のポイントと新年度からの取組方針について伺いたい。</p>	知 事
	<p><b>7 安心・安全で質の高い教育環境の実現について</b></p> <p>「奈良県教育振興大綱」に謳われている「安心・安全で質の高い教育環境の整備」を実現するうえで、急務の課題である県立高等学校の空調整備及び耐震化について、来年度、どのように取り組んでいこうと考えているのか。</p>	知 事
	<p><b>8 新しい警察本部長の所信について</b></p> <p>奈良県の治安を担う最高責任者として、どのように県警察を運営しようと考えているのか、本部長着任にあたっての所信を伺いたい。</p>	警察本部長

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(25番) 奥山 博康 (自民党奈良) 【一括質問】</p>	<p><b>1 観光の振興について</b></p> <p>(1) 日帰り中心の観光から、宿泊していただき県内各地をゆっくり巡っていただく観光に変えていくことが非常に重要である。そのためには、飛鳥から藤原京を経て平城京に遷都されていく南北のラインを、日本という国が奈良で誕生したことを国内外にアピールする「宮都物語」と名付けて、県内周遊型観光の中心に据え、周遊環境の充実を図りつつ、推進していくことが効果的だと考えるが、知事の所見を伺いたい。</p> <p>(2) 県内周遊型観光をより魅力的なものにするためには、訪れていただく各地域のさらなる魅力の向上が重要であるが、市町村と連携したまちづくりについて、どのように取り組んでいるのか。</p> <p><b>2 経済の活性化について</b></p> <p>(1) 海外や首都圏へ積極的に販路を拡大し、外からの稼ぐ力をより一層強化するための新年度の具体的な取組について伺いたい。</p> <p>(2) 本県の経済の活性化には、女性が活躍することが不可欠と考えるが、県は、今後どのように、女性活躍の気運を高め、女性が活躍する奈良県づくりを進めていくのか。</p> <p><b>3 中央卸売市場の再整備について</b></p> <p>今年度策定される奈良県中央卸売市場再整備基本構想の基本コンセプトは何か。また、どのようなスケジュールで再整備を進めるのか。</p> <p><b>4 県立高等学校の適正配置について</b></p> <p>県立高等学校の適正配置について、どのような考え方で適正配置を進めようとしているのか。また、今後どのようなスケジュールで実施していくのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>教 育 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(25番) 奥山 博康 (自民党奈良)</p>	<p><b>5 部活動について</b></p> <p>(1) 教育活動における部活動の意義を県教育委員会はどのように考えているのか、教育長の所見を伺いたい。</p> <p>(2) 生徒の夢の実現に向けて部活動指導に熱心に取り組んでいる教員に対する手当は、どのようになっているのか。</p> <p>(3) 専門的指導者がいない、あるいは生徒数の減少により集団競技が成立しないなど、困難に直面している公立中学校などに対して、県教育委員会ではどのような対応を行っているのか。</p>	<p>教 育 長</p>
 <p>(18番) 清水 勉 (日本維新の会) 【一括質問】</p>	<p><b>1 内陸型大地震への対策について</b></p> <p>(1) 奈良県地域防災計画の地震編には、奈良県内で発生確率の高い奈良盆地東縁断層帯や中央構造線断層帯（香芝～五條市）などの存在が明記されている。県内の被害を最小限に留めるための今後の調査や対策などについて伺いたい。</p> <p>(2) 業務継続計画（BCP）について、昨年12月1日総務省発表資料では、奈良県下市町村実施状況は、39市町村のうち24団体が策定済み（約62%）ではあるが、近畿圏では最下位で全国の策定状況の平均値約80%から大きく離れている。 安全・安心な県土とするため、早急に100%の策定率とする必要があると思うが、今後の業務継続計画推進対策について伺いたい。</p> <p>(3) 大規模災害時において、学校施設が長期間にわたって避難所として利用されることから、正常な教育環境の確保を行うことが非常に困難であることは、東日本大震災、熊本地震でも明らかになっている。各現場では、定期的な避難訓練などを実施されていることと思うが、県下、全ての学校現場において、業務継続計画（BCP）や連携策は既に作成されているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>教 育 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める理事者
<p>(18番) 清水 勉 (日本維新の会)</p>	<p><b>2 公務員の副業について</b></p> <p>(1) 公務員の副業を解禁することで、公務で得た知識やスキルを地域社会に還元することや、外部との関わりの中で得た知見を公務に還元することの相乗効果が得られると思われる。公務員の副業解禁について所見を伺いたい。</p> <p>(2) 地方公務員法第8条第1項第2号の人事委員会の権限には、『職員に関する制度について絶えず研究を行い』とあるが、今後の社会情勢を踏まえて、地方公務員の副業の研究内容の現状について所見を伺いたい。</p> <p><b>3 奈良県のバリアフリー基本構想策定状況について</b></p> <p>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、全ての国民が共生する社会の実現を目指し、全国において更にバリアフリー化を推進するとともに、「一億総活躍社会」の実現に向けた取組を進めることが必要であるとして、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部を改正する法律案」が本年2月上旬に閣議決定された。</p> <p>これを受けて、奈良県を訪れる全ての人に優しいおもてなしが出来るよう、全県下で基本構想策定と特定事業の推進を図る必要があると考えるが、所見を伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>人事委員会 委員長</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(18番) 清水 勉 (日本維新の 会)</p>	<p><b>4 ポイント制度を活用した長寿と健康の好循環制度の確立について</b></p> <p>寿命100歳時代を迎える超高齢化社会において、現行の介護保険制度では1号被保険者が増えるばかりで各市町村の行政経営は、どんどんと厳しくなっていくものと思われ、いずれは、介護保険制度の再構築を検討せざるを得ない時が必ず到来することから、ITの進化を先取りし、若いうちからボランティア活動などを通じて、将来の自分や家族のためのポイントを蓄積する制度として、県下で共通したプラットフォームの構築が必要になってくると思っている。</p> <p>そこで、健康寿命日本一を目指すひとつの方策として、各自治体で取り組まれている介護ボランティアポイント制度を県下に拡大・深化すべきと考えるが、所見を伺いたい。</p> <p><b>5 オープンデータの推進と活用について</b></p> <p>今後、人口減少に伴って県内の多くの自治体の行政職員も減少せざるを得なく、情報公開の手間や行政事務の効率化と透明化を推進する必要に迫られてきている。</p> <p>県内市町村におけるオープンデータ化の推進と活用について、所見を伺いたい。</p> <p><b>6 第3回奈良大立山まつりについて</b></p> <p>現行の奈良大立山まつりの開催費用は、ほとんどが税によるものであり、県が主催することの位置づけを考えれば、その他の公共事業と同じように、将来にわたる便益計算の確立が必要であると考えます。今後の開催の意義と費用対効果について、改めて伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>